



方面總監統率方針  
**任務完遂**

発行所  
陸上自衛隊  
中部方面總監部広報室  
〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-11  
電話・072(782)0001

# 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。中部方面隊隊員諸官及びそのご家族の皆様方並びに協力諸団体等の皆様方、令和となつて初めての新年をお健やかに迎えることと、お慶び申し上げます。

昨年8月に第35代中部方面總監として着任し、早や5か月が経ちました。59年もの長い歴史と伝統を有し、かつ、21府県に及ぶ広大な地域の防衛警備、災害派遣等を担任する中部方面隊の指揮を執る機会を与えられ、日々その重責を感じ、職務にまい進しているところです。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、周辺国による軍事活動の活発化もあり、依然として不透明・不確実な状況にあります。

一方、国内では、阪神・淡路大震災から25年が経ちますが、台風による甚大な被害の発生等、依然として想定外と言われる各種自然災害が頻発しつつあります。このような中、昨年、中部方面隊は、CSF（豚コレラ）対応をはじめ、台風15号・19号に伴う災害派遣、大阪G20サミット支援、国連PKO早期展開支援、日米共同訓練、南海レスキュー31等により、確実に練度を積み上げて参りました。これも各部隊等の日頃の地道な努力と、協力諸団体等及び地域の皆様方の温かい

御理解・御支援の賜物と深く感謝致します。

本年も我々中部方面隊隊員一同、何時如何なる任務が与えられようとも、事態に即応して任務を完遂し得る「強靱な中部方面隊の創造」にまい進して参ります。特に本年は、中方創隊60周年という節目の年を迎えます。令和3年2月の南海トラフ地震を想定した大演習、10月4日に実施する方面隊創隊記念行事、令和3年1月24日に行う方面隊音楽まつり等、あらゆる機会を活用して防衛基盤の強化と募集目標の達成を図っていきたくと考えています。

結びになります。本年は、子（ねずみ）年です。多産のねずみは発展の象徴と言われております。子年である令和2年が、隊員諸官及びそのご家族の皆様方、そして協力諸団体等の皆様方にとりまして実り多き年でありますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに



中部方面總監  
**陸将 野澤 真**

## 国連PKO早期展開支援（RDEC※）第4施設団

※ Rapid Deployment of Enabling Capabilities



ロードローラの操作教育



バケットローダの操作教育



国営テレビの取材



越国防省対外局長による視察



訓練生によるベトナム語講座



教官によるドーザー整備教育

ベトナムでの派遣活動を終了した。17名の隊員が帰国した。第6施設群第3科長（大塚3佐）以下17名の隊員は、10月27日（日）から12月18日（水）までの約8週間、国連PKO早期展開支援を実施、任務終了に伴い帰国した。派遣隊員の任務は、越軍の訓練生20名に対し、ドーザーや油圧ショベル等建設機械の基本的な操作や整備を教育し、PKO等国際任務の遂行が可能な練度と到達させることであった。越軍訓練生は、教官団の熱意ある教育、総合実習及び術科試験を経て、国際任務遂行が可能となる建設機械操縦技能に到達した。

ベトナムでの派遣活動を終了  
17名の隊員が帰国

# 総監初度視察

中部方面隊（総監野澤陸将）は、11月下旬から12月中旬にかけて、第3師団、第4施設団、関西補給処、自衛隊奈良地方協力本部、千僧・大久保駐屯地業務隊に對し、総監初度視察を実施した。

総監は、状況報告、隊内巡視及び隊員との懇談により、現状を把握した。視察終了後の総監訓示において、隊員を激励したところ、隊員一同等しく感動して士気高揚につながった。



総監訓示  
(関西補給処)



隊内巡視  
(千僧駐屯地業務隊)



部隊長との懇談  
(第3師団)



隊員との懇談  
(自衛隊奈良地方協力本部)



隊内巡視  
(大久保駐屯地業務隊)



訓練展示 (植杭・鉄条網)  
(第4施設団)

| 月 日       | 視察部隊等         |           | 場 所    |
|-----------|---------------|-----------|--------|
| 11月28日(木) | 第3師団          | 師団長 梶原陸将  | 兵庫県伊丹市 |
|           | 千僧駐屯地業務隊      | 隊長 三田1佐   |        |
| 12月11日(水) | 関西補給処 (宇治、祝園) | 処 長 秋葉将補  | 京都府宇治市 |
|           | 第4施設団         | 団 長 小谷将補  |        |
|           | 大久保駐屯地業務隊     | 隊長 永井1佐   |        |
| 12月12日(木) | 自衛隊奈良地方協力本部   | 本部長 熊井事務官 | 奈良県奈良市 |

## 国内における米海兵隊との実動訓練 (フォレストライト (MA))

第13旅団



地上給油訓練



空中機動訓練

あいば野・国分台・日本原演習場  
今津・明野駐屯地

第13旅団(旅団長 山根将補)は、12月1日(日)から13日(金)までの間、米海兵隊との実動訓練(フォレストライト(MA))を実施した。本訓練は、日米双方から約750名が参加し、陸上自衛隊と米海兵隊の連携強化及び共同対処能力の向上を目的として実施された。

機能別の訓練では、日米航空機による長距離機動等、迅速な機動展開と複数の演習場を使用した訓練が実施され、MV-22オスプレイを使用し、地上給油訓練及び陸自航空機への訓練実施部隊は、日米相互の連携を確認し、それぞれ所望の成果を獲

|       |                     |       |
|-------|---------------------|-------|
| 陸上自衛隊 | 第8普通科連隊(連隊長 天内1佐)基幹 | 約450名 |
| 米海兵隊  | 第4海兵連隊第1-25大隊基幹     | 約220名 |
|       | 第36海兵航空群第262飛行隊基幹   | 約80名  |

# 第2次師団訓練検閲

第10師団 北富士・東富士演習場



FH70射撃準備 (第10特科連隊)



迫撃砲射撃準備 (第35普通科連隊)

第10師団(師団長 鈴木陸将)は、12月1日(日)から10日(火)までの間、第2次師団訓練検閲を北富士・東富士演習場において実施した。本訓練検閲は、第35普通科連隊(連隊長 曾根1佐)、第10特科連隊(連隊長 中村1佐)、第10戦車大隊(大隊長 清

本訓練検閲には、受閲部隊隊員約1,500名、車両約400両及び航空機4機が参加した。

藤2佐)、第10飛行隊(隊長 渡辺2佐)に対して、その練度を評価・判定して進歩向上を促すために実施された。



ヘリ陣地進入 (第10飛行隊)



戦車行進 (第10戦車大隊)

# 協同転地演習（連隊等転地）

## 第14旅団 南西地域

第14旅団（旅団長 小和瀬将補）（当時）は、12月2日（月）から9日（月）までの間、令和元年度協同転地演習を実施した。

本演習は、第14旅団が平成30年3月に機動旅団に改編後、第15即応機動連隊を方面区をまたぎ南西地域に機動展開させる初の協同転地演習となった。

機動展開訓練は、香川県から主に航空機CH-47を使用して実施された。

南西地域での訓練は、与那国駐屯地沿岸監視隊との協同訓練、与那国駐屯地等と善通寺駐屯地間の通信確保を狙いとした通信訓練が実施された。



CH-47に搭乗する隊員



善通寺駐屯地から離陸するCH-47

### 令和2年度

## 中部方面隊業務計画第1次指示



総監訓示

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、12月5日（木）各師・旅団の幕僚長、各方面直轄部隊長、各地方協力本部長等を総監部に召集

し、中部方面隊業務計画第1次指示を実施した。本指示により、令和2年度の隊務の方向性を示した。総監は訓示において、「各事業目的等の具体化」、「改善・進歩要領の着意」、「募集への努力」の3点を強調され、自身の好きな言葉である「自我作古（じがさっこ）」について紹介した。



指示受けの様子

## 下半期地方協力本部長会議 業務隊長等集合訓練



地方協力本部長への総監訓示

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、12月6日（金）総監部において、地方協力本部長会議及び業務隊長等集合訓練を実施した。



訓練に参加した各業務隊長

本会議等では、総監の意図の徹底と主要施策の説明がなされ、総監部と各地方協力本部、各部隊間相互の意思の疎通が図られた。

## 共済組合統括支部長表彰

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、12月5日（木）伊丹駐屯地において、共済組合表彰を行った。

本表彰では、共済事業の運営に当たり、特に顕著な功績のあった2個支部を表彰した。

受賞した千僧支部（支部長 三田1佐）は、厚生センター等の魅力化、親しみやすいデザインの厚生ニューズを発刊する等隊員・家族の福利厚生の向上に寄与した。また、豊川支部（支部



前列右：千僧支部 前列左：豊川支部

## 大阪防衛協会女性部会慰問支援

伊丹・千僧・川西駐屯地

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、12月5日（木）大阪防衛協会女性部会会員15名の慰問を支援した。本慰問は、女性自衛官への激励・慰問により、自衛隊に対する親近感の増大、理解の促進及び隊員の士気の高揚を図ることを目的として毎年行われている。伊丹・千僧・川西の各駐屯地で慰問を受けた女性自衛官は、大阪防衛協会女性部会会員との懇談等により、親近感の醸成と自衛隊の活動の理解に寄与した。



記念撮影（伊丹駐屯地）

# ふあみさほ通信 (連載:第37回)

## 信太山駐屯地

信太山駐屯地は、大阪府南部(22市町村)を担当地域として、大阪府自衛隊家族会5個地区会及び大阪府隊友会2個支部と連携して、家族支援施策に取り組んでいます。

当駐屯地は、平成25年に家族支援施策の試行駐屯地に指定され、平成27年7月から、南海レスキューに併せた安否確認訓練を毎年実施して参りました。

平成30年度末には本施策の更なる充実を図るために、大阪府自衛隊家族会、大阪府隊友会、自衛隊大阪地方協力本部、八尾駐屯地及び信太山駐屯地の間において、「大阪府地方協定」を締結しました。

本年度も、元年11月に安否確認の実効性を高めるため、堺地区家族会が担当する家族の安否確認訓練を実施するとともに、元年12月23日(月)には支援依頼隊員が大阪の実家に帰省する機を捉え、隊員・家族と関係部外団体の担当者との顔合わせ行事を実施しました。

さらに2月には、南海レスキュー訓練と併せて大阪府南部全域における安否確認訓練を計画しています。

今後も家族会及び隊友会のお力添えを賜り、盤石の家族支援態勢を築き上げていく所存です。



大阪府地方協定締結 (平成30年度末当時)



安否確認訓練の状況

## CSMの提言



第13旅団司令部付隊  
(海田市駐屯地)  
先任上級曹長  
准陸尉  
大田 泰之

### 「チームワーク」

新年あけましておめでとうございます。第13旅団司令部付隊先任上級曹長の 大田 准尉です。

令和元年は、ラグビーやバレーボール等で日本は大活躍し、感動や勇気をもらいました。スポーツの世界では勝利をすると必ず活躍した選手がいます。インタビュー

## 地本のチカラ

(連載第16回:広島地本)



呉音楽隊の演奏で盛り上がる会場

自衛隊広島地方協力本部(本部長 鷹尾1佐)は、12月1日(日)「VリーグJTサンダーズ広島 呉大会」で応援、協力及び広報を初めて行いました。ハーフタイムショーでは海上自衛隊呉音楽隊が満席の会場を大いに盛り上げ、募集広報ブースでは迷彩柄のコラボ缶バッジが人気を博しました。昨年は、5月に広島カープ、

を受けると、自分が活躍したから勝ったという発言をする者は少なく、練習や試合をするために支えてきてくれた裏方のおかげ、得点が入るまでに他の選手がつかないできてくれたとか、チームが目標達成のために一丸となつてやっていたから等、周りの人の助けがあったからという発言を聞くことが多いです。私たちにも同じことが言えるのではないのでしょうか。

第一線部隊で活躍する人、それを支える後方部隊の人、主力が演習に行けば、駐屯地を守る特別勤務に就く人も必要です。家庭では家族が家を守ってくれ

10月にサンフレッチェ広島ホーム戦で募集広報ブースを出しました。同年10月には、女子サッカーのアンジュヴィオレ広島が海田市駐屯地グラウンドで練習し、サッカー好きの隊員や子供たちとの交流を深めました。

今年の1月25日(土)には、「BリーグB2広島ドラゴンフライズ西日本豪雨災害復興マッチ(仮称)」での海上自衛隊呉音楽隊演奏、第13旅団の装備品展示等を予定し、3月15日(日)の入隊・入校激励会では、前記したチームの選手からの激励メッセージをいただく予定です。また、来年度の艦艇一般公開では、3人制プロバスケケットチーム「スリストム」とのコラボも計画しています。各スポーツチームには自衛隊の役割や重要性をよく理解して

ているから安心して仕事ができます。スポーツ・仕事・家庭と内容は違いますが、それぞれに同じ目標を達成するため、作業・協力・意識・行動、すなわちチームワークを発揮するから任務が達成できるのです。

司令部付隊は、付隊本部・管理班・車両班・司令部勤務班があります。仕事内容は違いますが、それぞれが支え合い協力することによって任務達成ができるのではないのでしょうか。

「地域社会への貢献」に賛同し、これに協力して今後より多くの方々にイベントに来てもらえるように努力していきます。その結果、スポーツチームと自衛隊の両方への応援のすそ野が広がれば嬉しい限りです。



くれこ・やまと、サンチェ・フレッチェ マスコット同士のコラボレーション